



# 深山たかし

発行元：深山たかし後援会  
 上尾市大字上1774-7  
 048(776)0575  
 fukayama-sov@com.home.ne.jp  
 ホームページは検索サイト  
 "深山たかし"で閲覧できます。

## 議会レポート

### 上平第二地区 まちづくり協議会設立

住みやすい地域の定義は、人それぞれ考え方が違います。時の移り変わりや立場の違い、個々の諸事情で、その考え方が変化することもあります。

自分たちの住む地域にどんな機能が付加されれば、みんなが納得できるのかを真剣に考え、話し合いを重ねながら、結論を導き出さなければなりません。

そのためには、皆さんが情報を共有し、誤解のない認識に立つことが、もっとも重要となります。

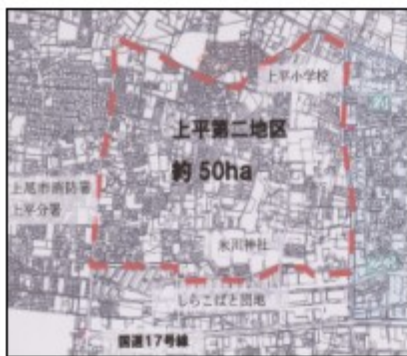
#### ☆☆ 場所 ☆☆

上平第二地区とは、宮の下区全域及び、上新製子区・久保区・南区・西門前区の

一部を含む、約五十ヘクタール(図参照)がその対象地域です。

#### ☆☆ 歴史 ☆☆

この事業の歴史的背景は、昭和四十五年八月に市街化区域と市街化調整地域に区分する線引きが行われ、地域基盤整備地区として土地区画整理事業が予定されましたが、近年急速に宅地開



発が進み、未利用地の減少に伴い、従来型の土地区画整理事業を進めることが、現実的に困難な状況になってきました。

どうしたら、上平第二地区の社会基盤整備を向上させられるかの調査や、検討を目的とした上平第二地区まちづくり委員会が、平成十八年度に地元区長さんを中心に関成されました。

委員会では、平成十九年度に地区内住民の皆様を対象に住環境に関する意識調査を実施いたしました。

その結果、道路が狭い・公共下水道が未整備・子どもの遊び場がないなど多数のご意見が寄せられました。

調査結果を踏まえ、委員会では市の関係課と意見交換を行い、地域の課題や、改善すべき点を中心に勉強会を重ねてきました。

上平第二地区まちづくり協議会設立は、上尾市まちづくり推進条例に基づくもので、認定されると、専門家の派遣やまちづくり組織への運営資金補助などのま

ちづくり活動に対する支援が受けられる事になります。

同委員会では、地区内在住の権利者に署名活動を行ったところ、多数の同意が得られたことから、市に対し上平第二地区まちづくり協議会の認定申請を行い、十一月十日付けで認定書が交付されました。

#### ☆☆ これから ☆☆

今後は、地区内の良好な住環境保護の視点から骨格となる道路・建築物の建て方ルール、広場、公園はどうあるべきかなど総合的に検討を進め、合意形成を図りつつ整備計画を進める予定になります。

順調に進めば、平成二十三年度中に整備計画の検討を進め、平成二十四年度中には、都市計画決定などの手続きに着手する予定となります。

アンケートや定期的な協議会ニュース発行など、情報提供に努め、当該地区の皆さんの理解と協力が得られるように進める事が必要です。



# 夢・感動教育あげお

十月に過去最悪の就職内定率と、報道にありました。

チャレンジ精神の欠如を指摘した、企業の人事担当者とのインタビュー記事が衝撃的でした。

上尾市は、夢・感動教育をキヤッチフレーズにしていますが、子ども達に伝える施策展開が出来ているのかを尋ねました。

全国で行われているユニークな取り組みを紹介しながら、質問を行いました。が、現状説明に終始し、新たな発想で、これが上尾の教育と言えるような独創的な取り組みがありませんでした。

子ども達の能力を引き出すために、心のスイッチを入れる手伝いが重要です。子どもの頃から達成感、充実感を味わうことは大切です。スキルアップの為のキャリア教育の充実も急務だと思えます。

## 課外授業について

夏休みなど、児童・生徒が教室を利用していない時期に地域の皆さんの力を借りて課外授業を実施してはどうかとの提案をしました。

「学校と家庭・地域が一体」となると説明されますが、学校は、校門の扉が堅く閉まり、地域の皆さんが気軽にに行ける場所にはなっていないように思います。

学校施設を市民全体の共有財産として考えれば、有効活用すべきでだと思えますが、教室の利用に限り、管理面で、課題が多すぎるとの回答でした。教育委員会には、工夫が足りないと感じています。

課題と解決策は目の前にあります。市民は美辞麗句を並べるよりも、一步一步着実に前進することを望んでいます。

## 財政問題

上尾市の、返済すべき借金は全体では、五百九十億六千万円でそのうち利子は、五十二億一千万円です。

この利子の高金利部分を直せば、財政負担はかなり軽減されます。

しかし、借入れ時点の契約で返済するルールのため、一方的に変更した場合、補償金と呼ばれる多額のペナルティーが加算されるしくみでした。

国の制度改正によって特例期間内に、一定の条件で補償金を免除した繰上償還が可能になりました。その結果、十二月補正で利子軽減額は、市全体で三億九千万円となりました。

平成二十二年〜二十四年の公的資金補償金免除制度期間中に約七億に上る削減になります。また、平成十九年度〜二十一年度に削減できた約三億八千八百万円を合計すると十一億円近くが節約出来る事になります。

## 三期目をめざして

早いもので、市議会議員二期目も残すところ、一年を切ってしまいました。

この間、経費を削減しながら、市民の皆さんが、心豊かに生活できる方法について様々な提言を行って参りました。

お陰様で、七年の経験を重ね、実現出来た提案も増え、やり甲斐を感じています。

全ての皆さんが希望する施策を実現することは、非常に難しいことですが、合意可能な方向へ進むことは出来ると思えます。

今、首長と議会との関係がクローズアップされ、対立意見を排除することが政治であるかの報道がされていますが、本質をすり替えている様に思えます。

お互いに言葉が足りないのではないのでしょうか。みなさんには、政治家が、選挙以外の時に、どのような考え方や方針で活動しているのかを、公平な目で見ていただきたいと思えます。

私は、首長・議員・市民の関係は、バスの運転手とナビゲーション・乗客に似ていると思っています。

市長は、安全運転に心がけ、議員は、道案内と市民のみなさんからの意見を運転手に伝え、協力して快適な乗り心地を実現していくものではないでしょうか。

議員活動は、どんなに逆立ちをしても一人では絶対に出来ません。たくさんの方の支えや応援・理解があって成し遂げられる仕事だと思えます。

今年の十二月には、市議会議員選挙があり、私は、三期目を目指しています。

上尾市が将来にわたり住みやすく、輝くことのできる施策を、具体的に提案していきたいと思えます。引き続き深山たかしへの応援をお願い致します。